

防火標語

火を消して  
不安を消して  
つなぐ未来



発行所  
公益財団法人長野県消防協会  
(長野県庁西庁舎)

〒380-8570  
長野市大字南長野字幅下 692-2  
TEL (026) 232-5319

編集発行人  
上 條 博文

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>

### ◆ 令和5年度 収入支出予算書

(単位: 千円)

収 入		R5年度(A)	R4年度(B)	比較(A-B)	説 明
基 本 財 産 運 用 収 入	6,906	6,906	0		基本財産運用収入
事 業 収 入	5,869	6,105	△ 236		福祉共済事業加入事務費交付金
長 野 県 補 助 金 収 入	5,150	5,150	0		県消防操法等開催補助金
日 本 消 防 協 会 補 助 金 収 入	4,734	4,788	54		日本消防協会補助金
雑 収 入	2,483	3,226	△ 743		
財 政 調 整 積 立 金 取 崩 収 入	0	0	0		
当 期 収 入 合 計 (A)	25,142	26,175	△ 1,033		
前 期 繰 越 収 支 差 額	6,582	7,652	△ 1,070		
収 入 合 計 (B)	31,724	33,827	△ 2,103		

支 出		R5年度(A)	R4年度(B)	比較(A-B)	説 明
広 報 事 業 費	351	420	△ 69		信州消防年3回発行
予 防 宣 伝 対 策 事 業 費	471	916	△ 445		県女性消防団員活性化会議啓発物品発送等
教 養 訓 練 事 業 費	9,001	8,793	208		県消防操法大会等
表 彰 事 業 費	2,125	1,993	132		定例表彰等
弔 慰 救 済 事 業 費	1,782	2,412	△ 630		慰霊祭、弔慰見舞金等
管 理 費	11,631	11,824	△ 193		人件費、会議費
特 別 積 立 出 預 金 支 出	206	198	8		
当 期 支 出 合 計 (C)	25,567	26,556	△ 989		
当 期 収 支 差 額 (A-C)	△ 425	△ 381	△ 44		
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B-C)	6,157	7,271	△ 1,114		



第4回 理事会 3月9日

令和4年度第4回理事会を3月9日(木)長野市内で開催しました。

## 第4回理事会開催 令和5年度事業計画及び予算決まる

管理部門前沢直隆部長から来賓あいさつをいただき、また会議の時間を借りて、前正副会長への感謝状贈呈式を行いました。

- ① 令和5年度事業計画(次項)
- ② 令和5年度収入支出予算(別表)
- ③ 長野県消防ポンプ操法大会操法実施要領・操法大会審査要領の一部改正
- ④ 第32回県消防ラッパ吹

また、協議事項として来年度の県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会実施要綱等について検討いただきました。さらに意見交換として、消防団員の確保対策や広報活動について、理事から各協会、団の考え方や取組みについて紹介いただきました。

奏大会ブロック推薦審査員の承認

- 東信 柴田隆一氏(上田市)
- 南信 登内正樹氏(伊那市)
- 中信 山田 勝氏(木曾町)
- 北信 丸山栄三氏(須坂市)
- ⑤ 県消防ラッパ吹奏大会への消防団連合チームの参加について(記事参照)



県女性消防団員活性化大会 2月26日

横須賀基地消防隊の予防

長谷川氏は、在日米軍

K WATCH 顧問の長谷川祐子氏を招き「女性消防団員に期待されること」(救助活動、避難所運営など)と題して講演いただきました。

講師には、(二社)RISK WATCH 顧問の長谷川祐子氏を招き「女性消防団員に期待されること」(救助活動、避難所運営など)と題して講演いただきました。

## 長野県女性消防団員活性化大会開催

令和5年2月26日(日)長野市内で県女性消防団員活性化大会が開催されました。大会は県と当協会の共催で2回目。女性消防団員71名を含む166名の参加がありました。



課長を歴任し、国や地方自治体の各種委員や数多くの講師を経験され、平成26年には、リスクウォッチ(危機管理)事業を立ち上げられました。当日は、けが人の全身チェックやクリブ(木材)とボールを使った救助技術「クリビング」実技を解説するなど、実践的で熱意のこもった講演をいただきました。受付、進行、活動報告など、当日の運営は県女性消防団員活性化会議のメンバーが担当。女性消防団員はじめ団幹部に、日頃の消防団活動への自信と意欲を高める機会となりました。

◆ 令和5年度【事業計画書】

事業名	実施項目	内容
I 会 議	1 県消防協会関係 (1) 定時評議員会 (2) 理事会 (3) 正副会長会議 (4) 専門委員会 (5) 表彰審査委員会 (6) 参与会 (7) 監査会 2 日本消防協会関係 (1) 評議員会 (2) 関東甲信地区消防協会会議 (3) 関東甲信地区消防協会事務局長会議 (4) 都道府県消防協会事務局長会議	1回 6月6日(火) 3回 5月18日(木)・12月・3月 必要の都度 12月 必要の都度 9月6日(水) 11月上旬 5月11日(木) 6月22日(木)・3月7日(木) 東京都 6月15日(木)～16日(金) 山梨県 12月7日(木)～8日(金) 栃木県 2月 東京都
II 防 災 思 想 啓 発	1 広報事業 (1) 機関紙発行 (2) ホームページ (3) フェイスブック 2 防火意識の高揚 (1) 定期火災予防運動 (2) 特別火災予防運動 (3) 各種防火イベントへの参加 3 防災運動 (1) 安全運動 (2) 防災運動 4 消防活動への協力依頼 5 女性消防団員の活性化推進	機関紙「信州消防」年3回発行、各市町村、消防団員、消防関係者へ配布 各種事業の周知・実施報告、信州消防団応援ショップ事業、地区消防協会の活動内容を掲載。消防団員募集は新たにHPにコーナーを作成 秋(11月)春(3月) 随時 随時、全日本消防人共済会の小・中学生防火ポスター、作文募集事業(7～8月) 随時 国民安全の日(7月1日) 防災の日(9月1日) 救急の日(9月9日) 119番の日(11月9日) 消防記念日(3月7日) 消防団員の勤務事業所等への協力依頼文の作成・配布 長野県女性消防団員活性化会議の開催、活性化大会の内容検討
III 消 防 施 設 整 備 改 善	1 消防用施設・機械器具の整備 2 消防用車両等の交付申請	必要に応じ国県等に対し請願・陳情等 日本消防協会が行う消防用車両等の交付先消防団の推薦等
IV 消 防 技 術 研 修 教 育	1 第65回長野県消防ポンプ操法大会 2 第32回長野県消防ラッパ吹奏大会 3 ラッパ吹奏講習会 4 第13回長野県消防団長・事務担当者研修大会 5 消防団員指導員研修 6 副団長講習会 7 第50回消防団幹部特別研修 8 第23回消防団幹部候補中央特別研修 9 第25回全国女性消防操法大会 10 第28回全国女性消防団員活性化石川大会	長野県消防学校 7月23日(日) 同上 長野県消防学校 4月22日(土) 松本市 10月18日(水) 長野県消防学校 12月14日(木)～15日(金) 40名程度 長野県消防学校 6月10日(土) 日本消防協会事業へ参加(1月) 北信ブロックから1名 日本消防協会事業へ参加(2月) 東・南・中信各ブロックから男女各1名 東京都 10月21日(土) 石川県金沢市 11月16日(木)
V 消 防 制 度 等 研 究 改 善	国・県・日消に対し請願・陳情	必要に応じ実施
VI 消 防 関 係 者 の 表 彰	1 表彰 (1) 長野県消防協会長表彰 (2) 日本消防協会長表彰 (3) 長野県民の消防員表彰	消防関係者等の表彰 1月 消防関係者等の表彰 3月 消防団の表彰 2月
VII 共 済 ・ 福 利 厚 生 ・ 弔 慰 救 済	1 弔慰救済 (1) 長野県消防関係殉職者慰霊祭 (2) 弔慰金・見舞金の支給 (3) 罹災者に対する見舞金の支給 2 殉職消防関係者遺児の激励 3 信州消防団員応援ショップ事業への協力 4 日本消防協会等福祉共済事業 (1) 第42回全国消防殉職者慰霊祭 (2) 消防団員等福祉共済 (3) 消防個人年金 (4) 婦人消防隊員等福祉共済 (5) 消防育英会	長野市花岡平 9月6日(水) 県消防長会当番 その都度 その都度 図書カードを贈呈し激励(12月) 長野県との共催事業 東京都 ニッショーホール 9月14日(木) 遺族代表者等出席 加入促進(随時)、消防団員等公務災害補償等実務研修会(松本市11月) 同上 同上 日本消防協会事業の支援
VIII 基 本 財 産 等 の 運 用	1 基本財産の有効運用 2 運用財産の有効運用	
IX そ の 他	1 関係団体との連絡調整 2 地区協会との連携強化	市長会、町村会、消防長会等

## 第75回 日本消防協会 定例表彰

第75回日本消防協会定例表彰は、3月3日(金)、東京都内で行われ、全国で138団(隊)12,368名が、本県では4団197名が受賞されました。

- ・優良消防団(表彰旗) 小諸市消防団
- ・優良消防団(竿頭綬) 諏訪市消防団
- ・優良消防団(連名) 東御市消防団(連名) 木曾広域消防本部・木曾町消防団(連名)
- ・消防団等地域活動表彰 全国8団体うち本県2団体 青木村消防団 阿智村消防団
- ・功績章 34名
- ・精進章 80名
- ・勤続章 83名

## 消防庁による表彰式



前列一番左 青木村小林忠彦団長 前列一番右 阿智村奥澤享央団長  
後列一番右 阿智村熊谷祐太副団長

総務省消防庁による表彰式が、3月10日(金)、東京都内で行われました。本県関係者は次のとおりです。

- ◆消防庁長官定例表彰
  - ・永年勤続功労者章 33名
  - ・表彰旗 2団体
  - ・竿頭綬 2団体
- ◆消防団等地域活動表彰
  - ・上田地域広域連合消防本部
  - ・東御市消防団(連名)
  - ・木曾広域消防本部
  - ・木曾町消防団(連名)
- ◆消防団等地域活動表彰
  - ・青木村消防団
  - ・阿智村消防団

## 第25回 長野県民の消防員表彰

### 消防員表彰

NBS長野放送主催による第25回長野県民の消防員の表彰式が3月4日(土)、長野市の長



受賞者 長野市松木道夫団長(県副会長)

野放送本社で行われました。受賞者

- ・団体の部 長野市消防団(松木道夫団長)
- ・個人の部 上田地域広域連合消防本部 消防司令 大久保 篤氏

## 各種研修行われる

○第49回消防団幹部特別研修 (日本消防協会)

1月17日(火)から20日(金)まで東京都内で開催されました。本県参加者 軽井沢町消防団

団長 柏木 智良

○第22回消防団幹部候補中央特別研修(日本消防協会)

男性消防団員の部が2月1日(水)から3日(金)、女性消防団員の部が2月15日(水)から17日(金)まで行われました。本県参加者

・男性消防団員の部 飯島町消防団

班長 中塚 駿

木曾町消防団

班長 上垣外浩平

木島平村消防団

副分団長 嘉部 義雄

・女性消防団員の部 南箕輪村消防団

団員 赤堀 優未

安曇野市消防団

団員 門田 悠希

長野市消防団

団員 北澤 菜央

○指揮幹部科(県消防学校)



上條会長講義

分団指揮課程が3月3日(金)・4日(土)、現場指揮課程が3月10日(金)・11日(土)と17日(金)・18日(土)の2回開催されました。消防団員110名が参加しました。協会長講話として、分団指揮課程で上條会長が、現場指揮課程では福澤副会長がそれぞれ現場と指導経験を踏まえた実践的な講義を行いました。

福澤副会長講義

## 信州消防団員 応援ショップ

店舗登録 募集中!

消防団員とご家族のご利用をお待ちしております。

## 人事異動

令和5年4月1日付

○危機管理部

〔転入〕 危機管理部次長 塩川ひろ恵(農業政策課長)

〔転出〕

・危機管理監兼危機管理部部長へ前沢 直隆(危機管理部部長)

・環境部長へ

諏訪 孝治(危機管理部次長兼参事(ワクチン)接種担当)

〔退職〕(3月31日付)

・危機管理監 五十嵐萬寿男

○危機管理部消防課

〔転入〕

消防課長 小野 政仁(職員課長)

・課長補佐兼消防係長(幹事) 市村 敏実

(次世代サポート) 課長補佐 小山 和也

〔採用〕

・主事(幹事) 北原 仁美

〔転出〕

・農政部長へ 柳沢 剛(消防課長・常務理事)

佐久建設事務所次長へ 今井 洋幸(企画幹兼課長補佐兼総務・通信係長・幹事)

企画幹兼課長補佐(幹事)へ 南沢 潤

(企画幹) 消防防航空担当(税務課課長補佐兼総務係長へ 田川 秀和

(課長補佐兼消防係長・幹事) 岳南広域消防本部総務課主査へ 小橋 遼(主任・幹事)

# 飯田市ワンチーム 未来へ向かって



飯田市消防団  
団長 坂巻 剛弘

## 飯田市の紹介

飯田市は、日本の中央、長野県の最南端に位置し、南北に天竜川が貫き谷地形が広がります。また、豊かな自然と優れた景観、四季の変化に富み、動植物の南北限という気候風土に恵まれ、人口約9万8千人、市域面積658.66km<sup>2</sup>と広大です。

養蚕や水引などの伝統産業により発展してきた飯田市は、現在では先端技術を導入した精密機械、電子光学のハイテク産業をはじめ、春夏秋冬、太陽と大地の恵みを存分に受けた「旬」を堪能できるのも魅力です。



講師をお招きして行った防災講習会



消防職員指導による送水訓練

飯田市の未来構想として掲げる「目指すまちの姿」とリンクするように、「2023年版 住みたい田舎ベストランキング」で総合部門第1位となり、「若年層が『住みたい』と思うまちづくり」へと加速していくでしょう。リア中央新幹線の開業は、東京まで約40分、名古屋まで約20分と移動時間の大幅な短縮となり、産業立地の可能性の向上、交流人口の増加、多様なライフスタイルの享受等のメリットが期待されています。

## 飯田市消防団の紹介

現在、当団は1本部、5方面隊、18個分団で構成され、団員の条例定数は1,205名です。団本部は団長以下9名の本部

員の他に、女性部、救護部、広報部、音楽隊班、ラップ隊、及び機動救助隊で構成されています。地域防災力の充実強化は、地域住民との連携を重要事項とし、消防力・防災力の要である消防団の強化を図るため、飯田市第12次消防力整備計画(5か年計画)に基づき、団員の質向上を目指しています。また、音楽隊班及びラップ隊の音楽をとおし広報活動も行っています。

## 飯田市消防団の活動

飯田市消防団は、消防力の維持と質向上のために団員の誰もが機関運用に始まる送水操作や、有効注水を可能にする筒先操作ができることを基本方針に掲げ、訓練及び活動に取組んでいます。

配備資機材の有効な利活用、指揮命令系統を活かした情報共有、臨機応変な対応力等といった「備えよ常に」を目指すが、今の消防団には必要不可欠です。有効に活動展開するためにも、基本訓練に始まり消防職員の指導による実災害に即した訓練へ



消防職員指導による  
長距離中継送水訓練

と変化させています。専門家を講師に機関講習で構造と取扱いを学び、実践的な中継送水訓練や想定訓練等へと移行していくという、知識と技術の習得に主眼を置いた訓練は効果的です。

大規模災害に対応することを目的に発足した機動救助隊では、基本的な資機材取扱い訓練、倒壊家屋からの要救助者救出訓練等、消防職員を講師にそのノウハウを学び、また、女性部を中心に企画実施する防災講習会、災害医療(トリアージ等含む)の講習等をおし、避難所及び救護所活動を知るといった、地域防災力の中核として活躍する消防団員の育成を行っています。

コロナ禍のため、3年ぶりに開催した「飯田市消防出初式」では、団員を陰で支える家族(各分団1名、計18名)を表彰する「家族表彰」を行い、当日は総代となつたご家族にご登壇いただき、場内の雰囲気も非常に和みまし



消防職員指導による  
倒壊家屋を想定した救助訓練

## 最後に

今現在、全国的にも課題となつている団員不足の状況において、消防団に求められる役割、そして期待の増大は、一人ひとりの団員の負担増に繋がっています。若年層の減少は著しく、新入団員の確保は困難を極めます。引続き地域と連携した勧誘や広報部によるSNS、チラシ等を活用した広報活動を行いつつ、限りあるマンパワーでいかに確で有効な活動が行えるかを考えていくことが重要ではないでしょうか。「地域のことは消防団に聞けば全て分かる」と住民の皆様から言ってもらえるよう、地域密着性を活かした活動を今後も続けていきます。消防団活動の最終形態として、地域からお預かりした団員が在籍中に行事、訓練及び人間関係を通じ、成長した「人財」として地域へ戻る事が、飯田市消防団の目指す持続可能なスタイルであり、飯田市ワンチームとして活動しているよう、未来に向かって一歩ずつ進んでいきます。



飯田市消防出初式  
家族表彰